

# 品質不正発生予防のための 体制診断サービス（カスタマイズ版）のご案内

---

SOMPOリスクマネジメント株式会社

GRCコンサルティング部  
リスクエンジニアリング部

## 見過ごせない——品質不正がもたらす影響

### 企業への影響



- ・ 事業譲渡
- ・ 信頼の失墜
- ・ 売上の低下 ...

### 組織への影響

- ・ 組織の解体や人員整理
- ・ 調査や臨時監査対応
- ・ 再発防止策の立案 ...

### 個人への影響



- ・ 給与の低下
- ・ モチベーションの低下
- ・ 顧客からの叱責 ...

こんな体制や環境になっていませんか？

- 品証部門の権限が弱い...
- 過度な納期プレッシャーがかかっている
- 社内のチェック体制が形骸化している
- 上司や同僚に相談できない...



**品質不正の常態化・長期化**

**品質不正の温床はないか？**  
**品質/危機管理のプロが診断します！**



## 1 独自の診断メソッド

当社では、過去の品質不正事案から抽出した「リスク因子」と、メーカー出身者ならではの「現場でのあるある」の知見を掛け合わせ、独自の診断項目を設計しています。

## 2 従業員の皆様の心理的安全性を確保

私たちは貴社の利害関係から独立した第三者の立場で、アンケート（もしくはヒアリング）を実施します。これにより、現場のリアルな声や不正の予兆を明らかにします。

## 3 豊富な支援実績

**支援実績10社以上（グループ会社含めると50社以上）**

大手から中堅まで、製造業を中心に幅広い企業を支援

- ・建機部品メーカー
- ・住宅設備メーカー
- ・鉄道部品メーカー
- ・産業設備メーカー
- ・電子部品メーカー
- ・食品メーカー

**品質管理と危機管理のコンサルタントが連携**

品質管理の専門家と危機管理の専門家が在籍。発生予防と有事対応の視点からご支援可能です。

**品質不正に対する専門性**

品質不正関連書籍の執筆実績あり／公認不正検査士在籍



## 1 従業員の**意識・認識**から品質不正の潜在リスクを可視化

過去の品質不正事案の調査結果から“不正の芽”を洗い出すためのアンケート項目を策定  
組織文化と個人倫理の両面から品質不正の潜在リスクを評価します。



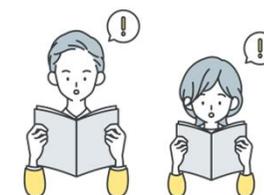
## 2 ものづくりの**現場を理解した調査担当者**で安心

メーカーの品質管理・品質保証部門での実務経験を持つコンサルタントが分析を担当  
現場の悩みや課題に寄り添いながら、課題点を抽出します。



## 3 部門や拠点間の**比較分析を通じた組織改善**への活用

複数部門やグループ会社を横断して調査することで、リスクレベルや課題の違いが明らかに！  
改善活動の優先順位付けや、好事例の共有など、組織改善につなげることができます。



## 4 貴社の課題にフォーカスした**オーダーメイドの診断設計**

専門のコンサルタントが貴社の課題認識や診断の目的を丁寧にヒアリング  
貴社に合ったアンケート項目やヒアリングの実施方法をご相談しながら決定します。



主なサービスの流れは下記のとおりです。アンケートの実施規模によって異なりますが、業務開始から約4か月で報告書をご提出いたします。



## アンケートの属性や項目について

当社のアンケートは、過去に発生した品質不正事案を分析した結果から、不正の原因となり得る“品質不正の芽”を抽出し、独自にアンケート項目を設計しています。

これをベースに貴社の要望をお伺いし、アンケートシートを完成させます。

### ● アンケートの属性（例）

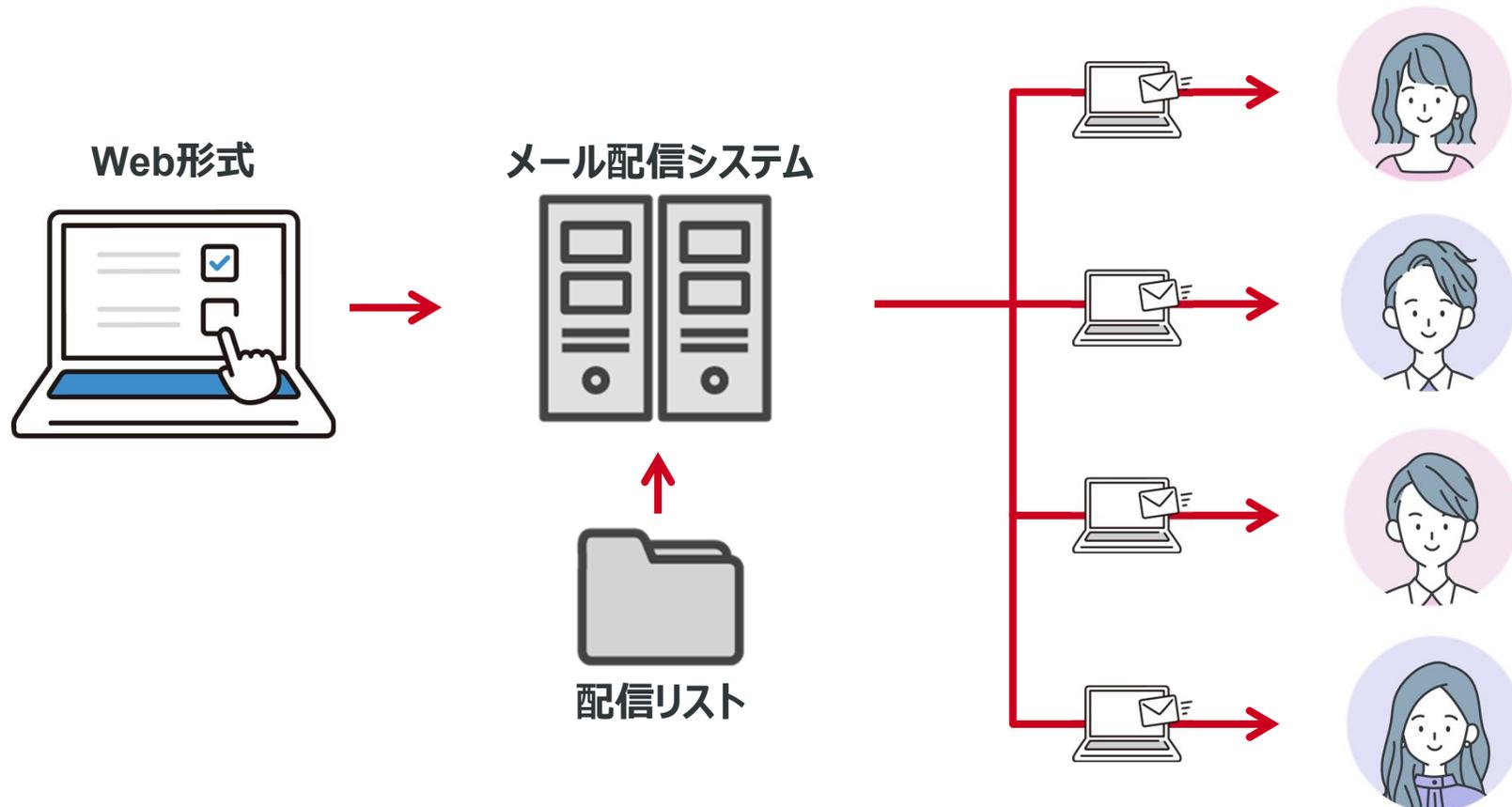
属性	内容
所属部門	①研究開発部門、②生産部門、③品質部門、④営業部門、 ⑤保守・サービス部門、⑥管理部門
役職	①経営陣、②部長クラス、③課長クラス、④係長・主任クラス、 ⑤一般職
勤続年数	①3年未満、②3年以上10年未満、③10年以上20年未満、 ④20年以上30年未満、⑤30年以上

## ● アンケートの項目（例）

分類	内容
外部環境	<ul style="list-style-type: none"><li>● 自社の生産量や売上の伸び、シェアについて</li><li>● 自社のお客様（もしくは業界）の品質意識について など</li></ul>
組織体制	<ul style="list-style-type: none"><li>● 経営陣の品質意識について</li><li>● 組織改編や人事異動について など</li></ul>
職場環境	<ul style="list-style-type: none"><li>● 職場の受注方針や納期遵守の意識について</li><li>● 上長や他部門とのコミュニケーションについて など</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>● 上長から規格外のデータ修正を指示されたら？</li><li>● 同僚がデータを調整していることに気付いたら？ など</li></ul>
自由記述	<ul style="list-style-type: none"><li>● 品質不正の未然防止に対する有効な対策は？</li><li>● 品質不正に対する懸念点について など</li></ul>

## アンケートの配信

アンケートは、Web形式（Microsoft Forms）を基本としています（紙媒体でのアンケート収集も可）。  
貴社からご提供いただいた配信リストに基づき、当社の一斉送信システムからアンケートを配信することが可能です。お預かりした個人情報は、当社の個人情報保護方針（<https://www.sompo-rc.co.jp/privacy>）に基づき厳重に管理いたします。



## アンケートの集計・分析

収集したアンケート結果は、当社独自の集計ツールを用いて分析します。組織全体の傾向はもちろん、属性別（所属部門、役職、勤続年数など）のスコア比較や、自由記述の傾向などから、貴社の課題を分析します。

以下に、具体的な集計・分析のアウトプット例を示します。

### 例1：属性別のスコア比較

各設問の回答結果を点数化・集計し、属性別（部門や役職など）にヒートマップとして可視化します。

この分析により、「特定の部門だけで著しくスコアが低い設問」や「管理職層と一般層で認識が大きく乖離している問題」などが一目瞭然となります。

スコア比較によって改善対策を講じるべきターゲット（部署や階層など）を特定します。

	項目名	平均点	経営陣	部長	課長	係長・主任	一般職
外部要素	1 自社の生産量や売上の伸び、シェアについて	2.6	1.00	2.00	3.40	3.50	1.50
	2 お客様(業界)の品質意識について	2.6	1.00	2.00	3.40	3.50	1.50
組織体制に関する要素	1 生産体制の改善について	5.00	2.00	3.80	3.25	1.25	1.50
	2 品質管理体制の強化について	1.00	2.00	3.40	3.50	1.50	1.50
	3 生産現場の安全管理について	5.00	2.00	3.80	3.25	1.25	1.25
	4 生産現場の環境対策について	5.00	2.00	3.80	3.25	1.25	1.25
	5 生産現場の設備投資について	5.00	2.00	3.80	3.25	1.25	1.25
	6 生産現場の人的資源確保について	5.00	2.00	3.80	3.25	1.25	1.25
	7 生産現場の技術開発について	5.00	2.00	3.80	3.25	1.25	1.25
	8 生産現場の生産効率向上について	5.00	2.00	3.80	3.25	1.25	1.25
	9 生産現場の生産コスト削減について	5.00	2.00	3.80	3.25	1.25	1.25
	10 生産現場の生産品質向上について	5.00	2.00	3.80	3.25	1.25	1.25

### 例2：設問ごとの属性別集計

設問ごとに、属性別の回答結果をグラフで詳細に比較分析します。例えば、「経営層と担当者間の認識のギャップ」や「特定の部門だけが納期プレッシャーを感じている実態」などを捉えることができます。

組織全体の平均点だけでは見えてこない、部門や階層に起因する課題を抽出します。

(設問1) 担当製品の生産量や売上の伸びについて



**コメント**

- ・自社の生産状況について、・・・感じている回答が、全体の約半分を占めている。
- ・事業部別に見ると、・・・が特に減産傾向を感じている。
- ・勤続年数別に見ると、年数が長い人ほど減産傾向を感じる人が多くなっているが、これは・・・から、このような傾向を示していると考えられる。

※表やグラフはアウトプットのイメージです。記載されている数値はサンプルであり、実際のデータを反映したものではありません。

## ヒアリングの実施・分析

アンケートの分析結果から、当社で対象者を選定し、ヒアリングを実施します。数値データだけでは分からない、「現場のリアルな声」や「管理職の本音」などを、第三者である専門家が引き出します。定量データ（アンケート）と定性データ（ヒアリング）を掛け合わせることで、貴社が取り組むべき課題や改善点を特定します。

### STEP01

#### 対象者の選定



アンケート結果を踏まえて、対象者を選定します。

- ・意識が高い or 低い
- ・コメントに懸念がある など

### STEP02

#### 項目の検討



アンケートの分析結果から課題や懸念が見受けられた設問を中心に、ヒアリングの項目を検討します。

貴社として確認したい項目も追加可能です。

### STEP03

#### ヒアリング実施



ヒアリングはさまざまな形式で対応可能です。貴社のご要望に応じて柔軟にヒアリングを実施します。

- ・オンライン or 対面形式
- ・1on1 or グループ形式

### STEP04

#### 取りまとめ



アンケートと同様、ヒアリング結果についても分析を実施します。品質意識が低いことに対する根本的な原因や不安要素、会社に対する要望などを取りまとめます。

## 【当社のヒアリング調査の特徴】

### 秘匿対応可能

対象者情報を厳重管理

### 豊富な実績

さまざまな企業・形式で実施

### 心理的安全性の確保

第三者のため安心して話せる

## 分析結果報告書（総論）：

アンケートやヒアリングから明らかになった貴社の強みと弱み、そして課題に対する対策案をまとめた報告書

## 詳細データ集：

全設問の回答結果を属性別に集計したデータ（p.8参照）

## 【イメージ】分析結果報告書（総論）

株式会社 ○○ 御中

品質不正発生予防のための  
アンケート・ヒアリング調査  
分析結果報告書  
(サンプル)

20××年×月×日

SOMPOリスクマネジメント株式会社

### 1. 調査方法

今回実施したアンケートやヒアリングの実施方法について、以下概要を示します。

(1) アンケート調査方法（アンケート設問や各種属性別の対象者数などは別紙1にまとめています）

対象事業者	○○株式会社
実施期間	20××年×月×日～20××年×月×日
アンケート形式	Web形式（Microsoft forms）
アンケート設問数	○問（5択選択式：○問、自由回答：1問）
アンケート回答者数	計×××名（回答率：×××%）
クロス集計属性	部門、担当業務 G、役職、社歴、年齢、性別・・・

(2) ヒアリング調査方法

対象事業者	×××社		
実施期間	20××年×月×日～20××年×月×日		
回答グループ (全×名)	○グループ	××部門 部長クラス	××部門 担当者クラス①
		××部門 部長クラス	××部門 担当者クラス②
		××部門 課長クラス	××部門 担当者クラス③
		××部門 課長クラス	××部門 担当者クラス④
ヒアリング形式	グループ形式（WEB会議を利用）		
選定基準	アンケート結果の特徴に基づき、当社にて選定		
主な確認事項	①昨今の品質不正問題や社内の取り組みに対する率直な感想は？		
	②品質コンプラの教育の実施状況について、どう感じるか？		
	③自部門の人員について、どう認識しているか？		
	.....		

### 2. 調査結果の総括

以下にアンケートおよびヒアリングにて確認された結果について、良い点と懸念点という観点でリスク社の見解をまとめます。

**(1) 良い点**

- ①全体として品質意識は高い
- ②品質コンプライアンス教育がよく実施されている
- ③検査基準の順守意識も非常に高い
- .....(以下略)

**(2) 懸念点**

- ①××部門にて業務のひっ迫
- ②組織構造に対する弊害
- ③部門内でのコミュニケーションに対する懸念
- .....(以下略)

**(1) 良い点**

①全体として品質意識は高い

アンケート結果からは、全体として**評価が高い（品質意識は高い）傾向**にあり、またヒアリング結果からも、一部懸念.....については、とてもよく顧慮されていました。これらの結果からも、現状においては、**全体として評価は高い結果**となっています。

まずアンケート回答結果を設問別に点数化した結果より、全体の**点数配分の傾向**については、**これまで実施してきた各事業に対するアンケート調査とほぼ同様の傾向**であり、設問によってばらつきはあるものの、総評点は.....を示しています。




図 × アンケートにおける各設問の点数

実施内容	期間	概算費用（税抜）
<b>診断方法の決定</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートやヒアリングの実施方法</li> <li>属性やアンケート項目</li> </ul>	約2週間～1か月	<p style="text-align: center;"><b>200万円～</b></p> <p style="text-align: center;">※組織規模や調査範囲によって変動します</p>
<b>アンケート実施・分析</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>Webフォームからアンケート回答</li> <li>集計および分析</li> </ul>	約2か月～	
<b>ヒアリング実施・分析</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象者の選定とヒアリング実施</li> <li>集計および分析</li> </ul>		
<b>成果物ご提出</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>報告書の作成およびご報告</li> </ul>	約1か月	

項目	パッケージ版	カスタマイズ版
主な目的・用途	<ul style="list-style-type: none"> <li>まずは<b>コストを抑えて</b>診断したい</li> <li>組織全体の<b>定期診断</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>詳細分析</b>や<b>課題の深掘り</b>をやってほしい</li> <li>貴社に合わせた<b>個別設計診断</b></li> </ul>
アンケート設問	<b>標準項目</b> を使用	<b>オーダーメイド</b> で作成
アンケート設問のカスタマイズ性	△：用語等の <b>限定的な修正</b> のみ	○：属性や設問など <b>すべて変更可能</b>
ヒアリングの実施	<b>なし</b> ※オプションで追加可能	<b>あり</b> ※実施方式や人数に合わせてお見積もり
報告書	<b>標準フォーマット</b> ※定型レポート	<b>オーダーメイド</b> で作成 ※分析結果に応じて当社で作成
価格体系	<b>固定料金</b>	<b>個別お見積もり</b>

サービス名	サービス概要	概算費用（税抜）
<p><b>品質不正発生予防のための体制診断サービス（パッケージ版）</b></p>	<p>アンケートの項目や報告様式を標準化することで、分かりやすい価格体系と短納期を実現。ご発注から最短2か月で最終報告までご提供可能です。</p>	<p><b>80万円</b></p>
<p><b>品質不正リスクの簡易診断（無料）</b></p>	<p>全20問の設問にご回答いただくことで、貴社の品質不正リスクレベル（目安）を診断することができます。アンケート結果から、簡易レポートを作成します。</p>	<p><b>無料</b></p>
<p><b>品質不正対策セミナー</b></p>	<p>貴社のご要望を反映したオーダーメイドのセミナーを実施します。</p> <p>例) 過去の不正事例やケーススタディを用いて受講者参加型の講演を実施</p>	<p><b>50万円～</b></p>



《お問合せ先》

SOMPOリスクマネジメント株式会社

リスクエンジニアリング部 賠償・労災グループ

[担当：安藤、松本、中西]

〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-24-1

pl\_club@sompo-rc.co.jp